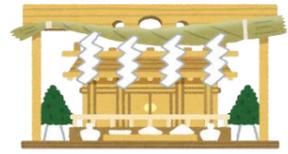




令和4年度 高田まつり



毎年、9月の第2土・日に開催されていた高田まつりは、ここ3年神事のみ行われていた。今年度は満を持して9月18日(日)に3年ぶりに例年通りの開催に向けて準備を進めていたが、静岡県の新型コロナウイルスの感染状況等を鑑み、急速今年度もこども神輿や売店、福寿会による花の販売等を中止、神事のみを日枝神社宮司さんにて執り行なわれた。当日は台風14号の接近もあり、天候の悪い中、高田自治会役員約20名が参加。「小さな祠でも毎年小さい子からお年寄りまで高田の皆さんが集まって祭典を開くことが大事です。来年は開けるといいですね。」と日枝神社宮司さんの言葉をいただいた。

〈第六天神社〉

歴史は古く「古事記」や「日本書紀」にも出てくる。元々は神仏習合の神様だったが明治維新の神仏分離の際、第六天神のオモダル・アヤカシコネに祭神を変更した。

ご利益は、美容や技芸上達、夫婦円満、金運、恋愛運。学業運、仕事運当人間のありとあらゆる願いをかなえてくれるありがたい万物創造の神様である。

〈子安神社〉

伝承によると、昔この近所に綿屋という家があり、行き倒れた妊婦さんをお告げにより祀ったという。依頼この神社は安産の神様、子供の神様として信仰があり、第六天神社の祭典と一緒に祀りされている。

